

技能評価システム移転促進(SESPP)事業
事業実施報告書【ベトナム 職業訓練技法】

- ◆2017年12月4日(月)～8日(金)
- ◆ベトナム・ハノイ市 ハノイ工業職業短大(HIVC)
- ◆旋盤3級 職業訓練技法

平成30年2月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 29 年(2017 年)12 月4日(月)～8 日(金)
 (実施場所) ベトナム社会主義共和国 ハノイ工業職業短大(HIVC)
 (職 種) 旋盤 3 級 職業訓練技法 (技能検定実技試験旋盤 3 級課題を題材とした標準作業書の作り方とそれを用いた実技訓練の進め方に関する指導)
 (講 師) 稲川 文夫氏 (SESPP 事務局 技術顧問)
 (受講者数) 11 名
 (実施日程)

日時	活動名(指導内容)	
12 月 4 日(月) 8:30～16:30 【職業訓練技法】	◆開講式 ・標準作業書の理解度の確認とその重要性の説明 ・日本の実技訓練のすすめ方の解説と標準作業書の効果説明 ・標準作業書の構成と作成方法の説明	・受講者の標準作業書の使用状況を確認。使用しているのは4人という結果だった。
12 月 5 日(火) 8:30～16:30 【職業訓練技法】	・標準作業書の作成演習(5グループを編成) <ul style="list-style-type: none"> ・旋盤3級実技試験問題を基に加工工程を検討 ・作業フローチャートを各グループで作成し発表 ・作成したフローチャートをベースに標準作業書を作成 ・途中で切削条件や技術の解説とディスカッション 	・2人組×4、3人組×1の計5グループ
12 月 6 日(水) 8:30～16:30 【職業訓練技法】	・実習場に移動して切削作業の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・使用する旋盤等の準備と調整 ・グループごとに作成した標準作業書に基づいて部品<2種>を加工 ・教室に戻り作業のポイント(加工技法)を解説	・1人が加工、1人が工程や切削条件等をチェック ・検証に基づき標準作業書を修正
12 月 7 日(木) 8:30～16:30 【職業訓練技法】	・実習場にて、役割を交代して部品<2種>を加工 <ul style="list-style-type: none"> ・前日同様に加工終了後に検証を行い、必要に応じて標準作業書を修正 	・前日の結果と指導を反映して加工作業を行う
12 月 8 日(金) 8:30～16:30 【職業訓練技法】	・加工終了後に加工の結果について各グループでプレゼンを行い、意見交換 ◆総括 ・標準作業書の効用について議論し、訓練指導への効果を確認	・各グループの結果から適切な切削条件の設定方法について議論を行い、併せて標準作業書の効用についてもディスカッション

2. 講師講評

◆総評

今回の標準作業書の作り方と作成した標準作業書に基づく切削条件の検証は、受講者にとっては、初めての経験で、アンケート結果を見ても、とても役立ったことがうかがえる。標準作業書に基づく作業は理解しやすく、適切な加工条件で作業をスムーズに進められたという意見が多くあった。彼等からも加工工程ごとに工程図を配置して加工条件と要点を記述した標準作業書を使って実技訓練を教えると、訓練生が理解し易く、かつ、切削条件の見つけ方を訓練生に考えさせる習慣が身に着くというコメントが多くあり、標準作業書の効果、有効性が確認できた。

◆今後の研修について

ベトナムの訓練現場では、加工工程、工程図、切削条件・要点で構成して容易に理解できる工夫を凝らした標準作業書を作って訓練するという習慣がないとのことである。標準作業書を作って加工工程や切削条件を検証し、適切な加工工程、切削条件を見つけて出す方法は、ビブリの発生、仕上げ面のむしれ、バイトの摩耗とチッピングを防止するうえで、とても役立つというコメントが多くあった。指導員を対象とした作業手順や加工条件の検証・見直しに関する研修、いわゆる自分の技術・技能の振り返り(診断)研修は、ベトナムでは有効なプログラムでTOT(Training of Trainer)プログラムに組み入れて実施する必要性を強く感じた。

今回の研修及び8月に実施した旋盤2級の訓練方法研修を通して感じたことは、いろいろな技術・技能の検証・診断、旋盤の保守点検、KYT(危険予知訓練)、5Sと職場改善等のテーマで短期間のTOTプログラムを実施すれば、確実にベトナムにおける訓練指導員の訓練能力が向上するということである。かつて日本において、職業能力開発総合大学校で指導員研修を実施して指導員の能力向上を図ったように、ベトナムにおいても職業訓練指導員の能力向上を図るために、指導員を対象とした体系的な研修プログラムの開発と実施及び多くの指導員が研修に参加できる体制の整備が望まれる。

3. アンケート結果・受講者からの意見

【アンケート結果】(回収10名)

満足度: 大変満足=8人 満足=2人 (満足度100%)
役立ち度: 大変役立つ=9人 役立つ=1人 (役立ち度100%)
継続性: 是非継続すべき=6人 継続すべき=4人 (継続希望度100%)

【意見・感想】

- ・今回の旋盤3級訓練方法研修では、作業手順を習得でき、実際の旋盤作業をしたので非常に役立つと思う。
- ・またこのような役立つプログラムに参加させてほしい。ありがとうございました。
- ・毎年最低2回、日本人専門家による訓練方法研修を引き続き開催してほしい。開催場所はHIVCで

お願いしたい。

- ・評価者として技能検定に参加させてほしい。(2人)
- ・技能検定の訓練方法の研修をさらに開催してほしい。評価者育成コースと評価者認定を開催してほしい。
- ・機械検査の訓練方法研修に参加させてほしい。
- ・旋盤2級訓練方法研修に参加したい。

【現地責任者の意見・感想】

- ・日系企業は日本式の旋盤3級の検定証明書(合格証)を認めてくれる。
- ・旋盤、フライス盤、機械検査の技能検定をこれからも継続して開催したい。